■CODE:810522_㊥取説伸縮テレビ台ＳＴＳＤ９０
■サイズ:630×H297mm
■材　質:上質紙70kg
■刷　色:1C/1C(Black)

[新規]：2022.08.04

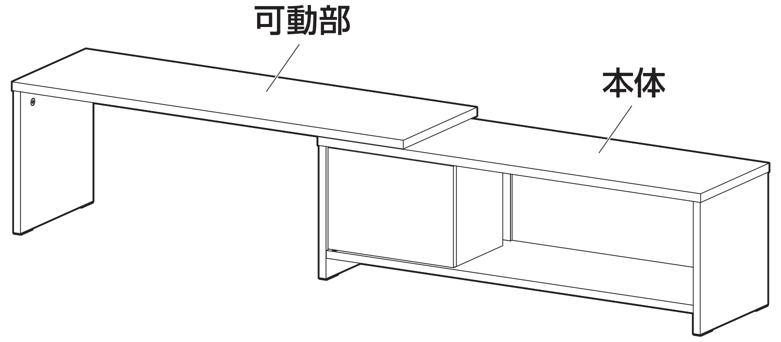
IRIS OHYAMA

取扱説明書

伸縮テレビ台

STS-D90

幅100cm以下の薄型TV専用



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

2人での組み立てをおすすめします。

■必要工具
⊕ドライバー（サイズ：2番）

⚠注意　インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

仕様

製品サイズ	外寸：幅905～1591×奥行295×高さ313mm 本体：幅886×奥行274×高さ293mm 可動部：幅905×奥行295×高さ313mm
耐　荷　重	本体天板：20kg、可動部天板：20kg、底板：10kg、全体：50kg
主 要 材 質	プリント紙化粧パーティクルボード、プリント紙化粧繊維板

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

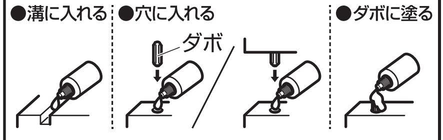
組み立て上の注意

■接着部分・連結部分について

重要 組み立て前に必ずお読みください。必ず以下の方法を守ってください。守らないと、組み立て後の強度が著しく低下します。

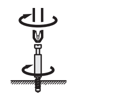
1 ダボ・溝部分の接着

●溝に入れる ●穴に入れる ●ダボに塗る



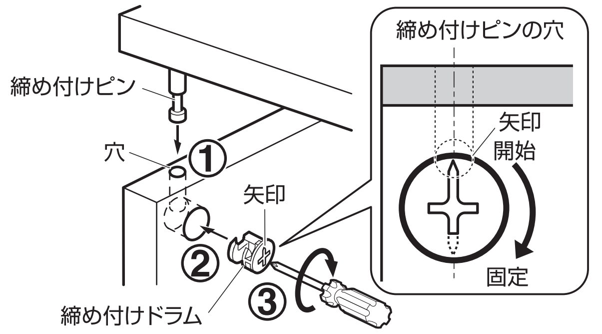
接着は指示通り行ってください。

2 締め付けピン
⊕ドライバーで垂直に締め込んでください。



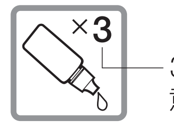
3 締め付けドラム

①締め付けピンを穴に入れる
②締め付けドラムを穴に奥まで入れる（矢印を締め付けピンの方へ向けて入れる）
③締め付けドラムを時計回りに回して固定する



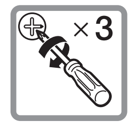
・それぞれの作業が必要な箇所を図で示してあります。
・数字は作業箇所数を示しています。

1 ダボ・溝部分の接着（○の箇所です）



3か所の意味

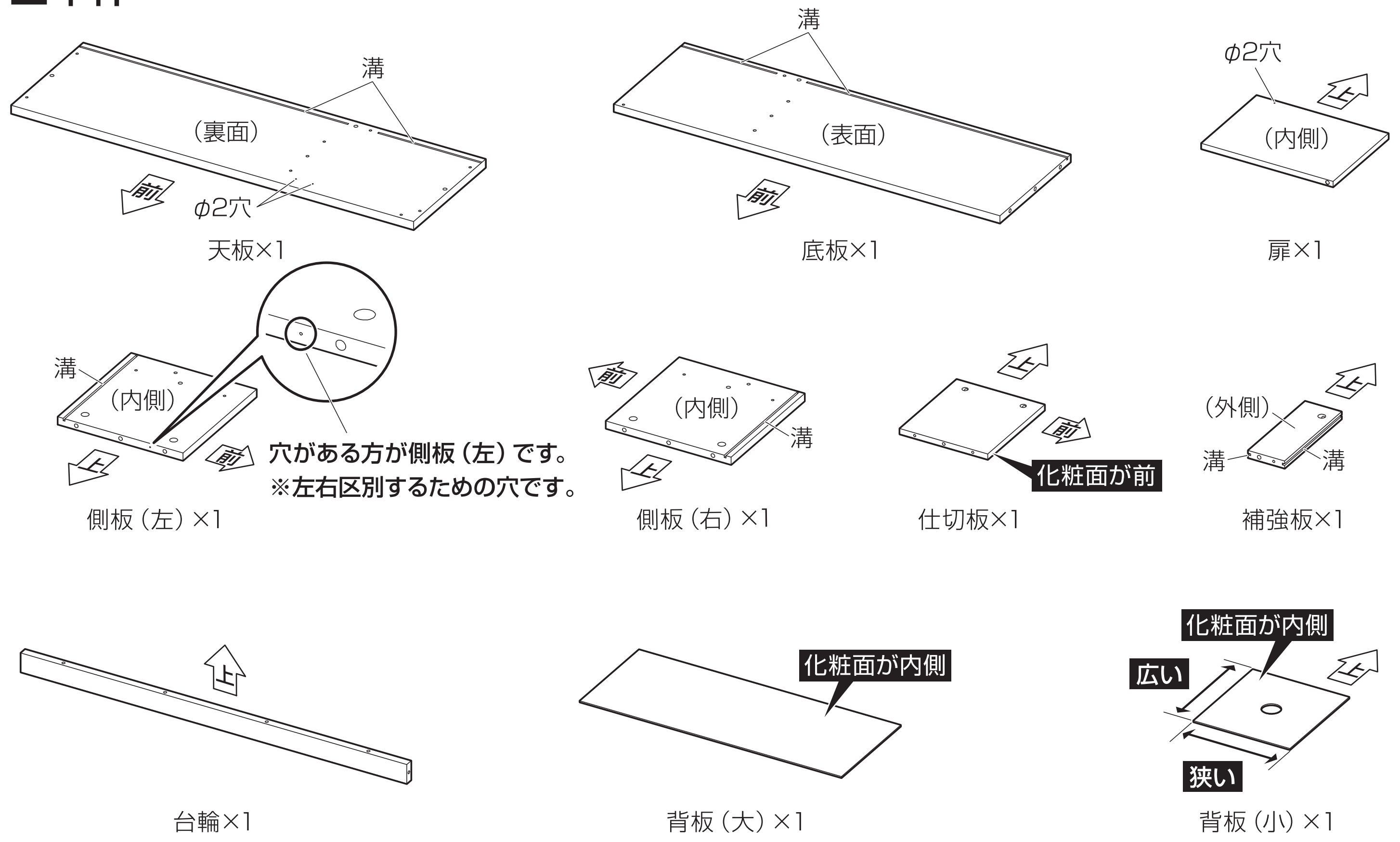
2 締め付けピン
3 締め付けドラム



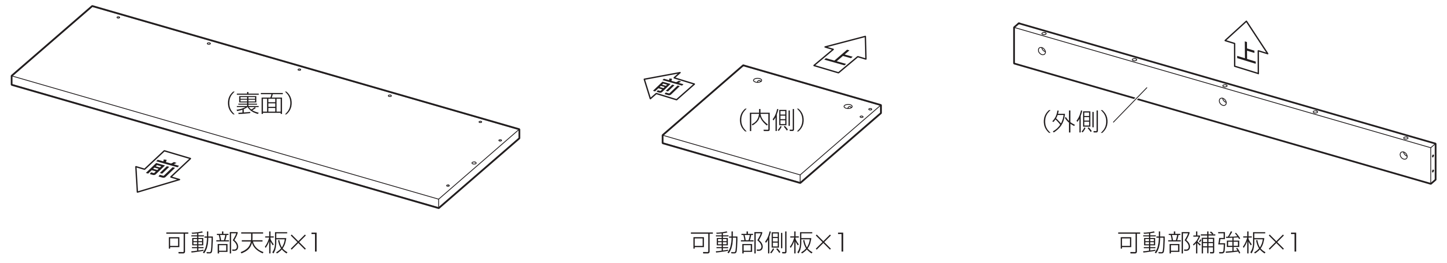
パーツリスト

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部品は梱包材です。

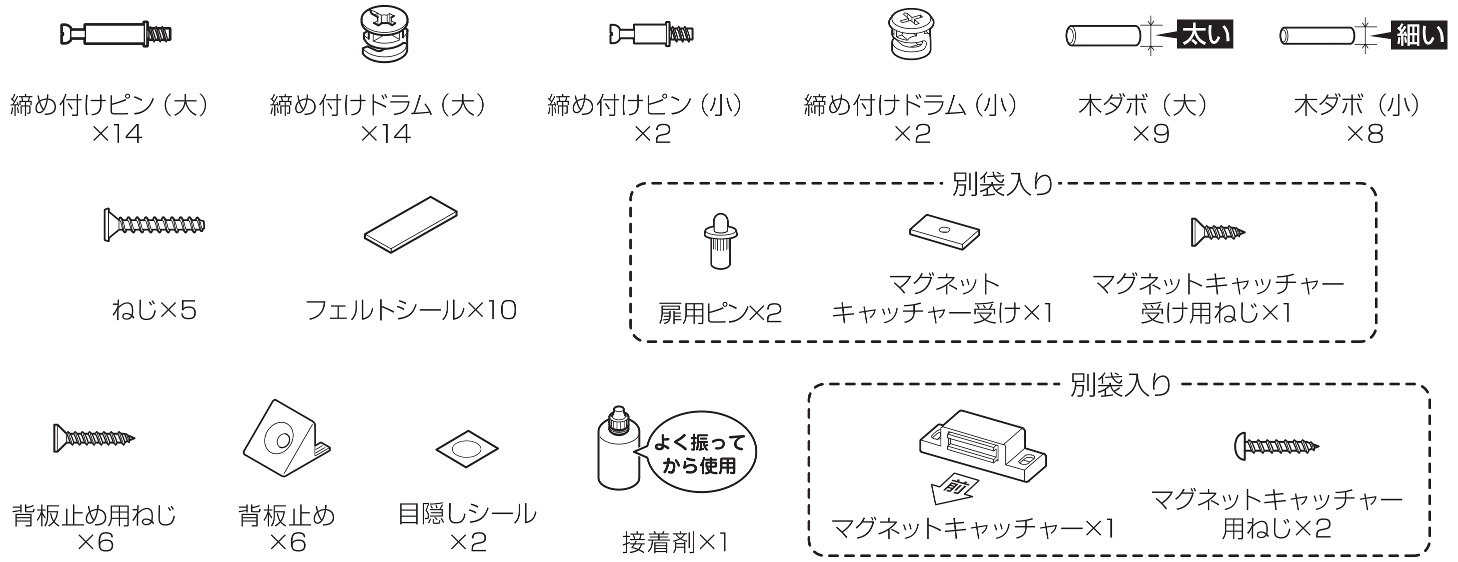
■本体



■可動部



■部品

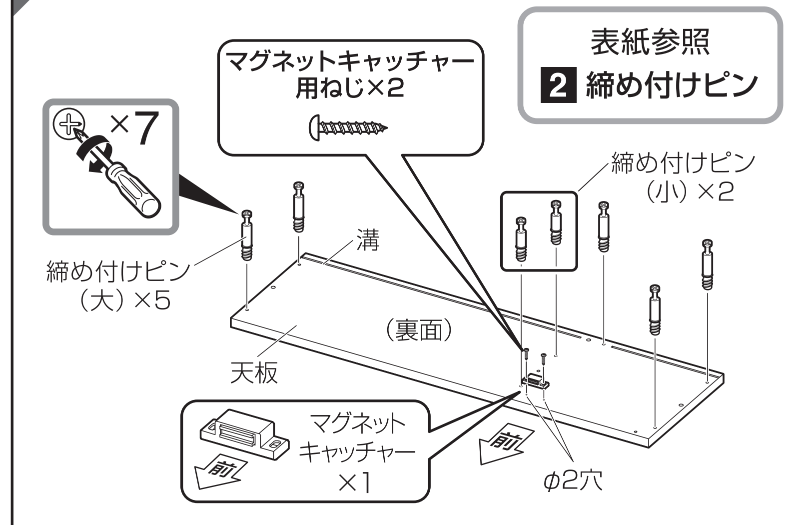


組み立てかた

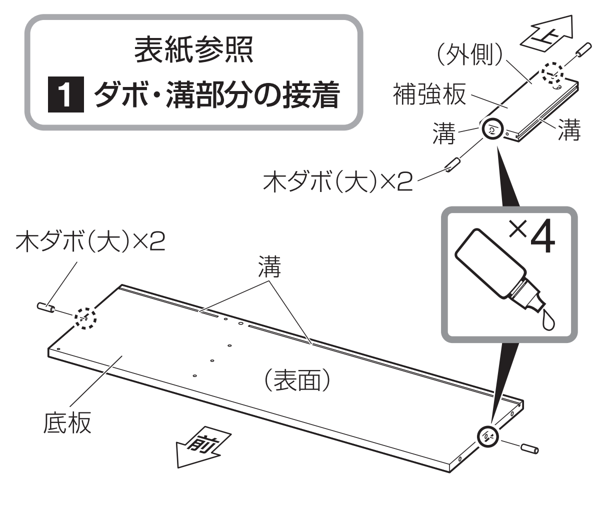
●組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
●設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。　●部品は正確に取り付けてください。

■本体の組み立て前の準備

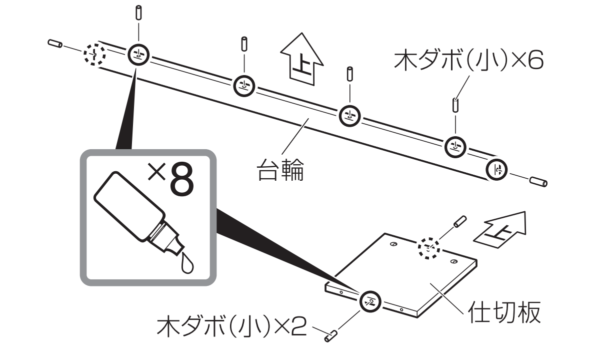
1 マグネットキャッチャーと締め付けピン（大、小）を天板に取り付ける



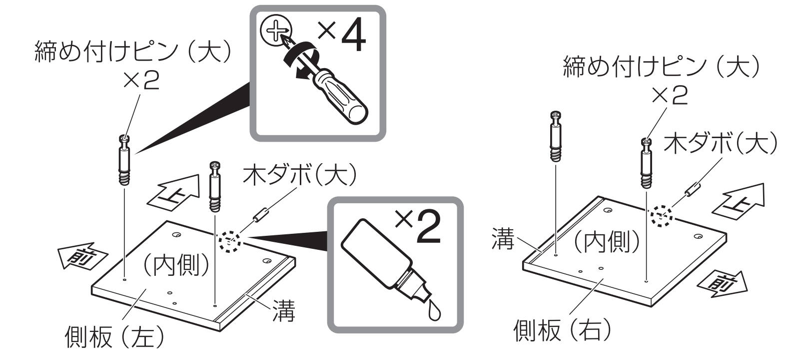
2 木ダボ（大）を底板と補強板に取り付ける



3 木ダボ（小）を台輪と仕切板に取り付ける

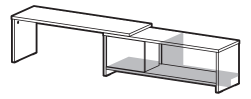


4 木ダボ(大)と締め付けピン（大）を側板（左、右）に取り付ける

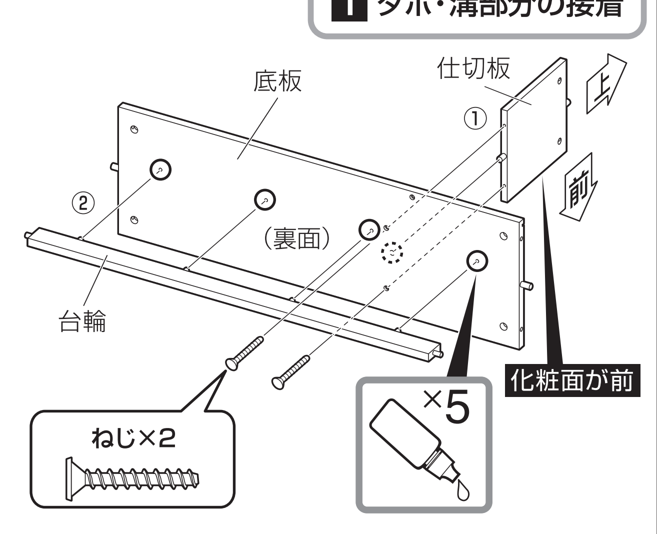


■本体の組み立てかた

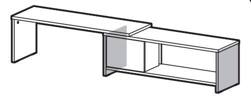
1 仕切板と台輪を底板に取り付ける

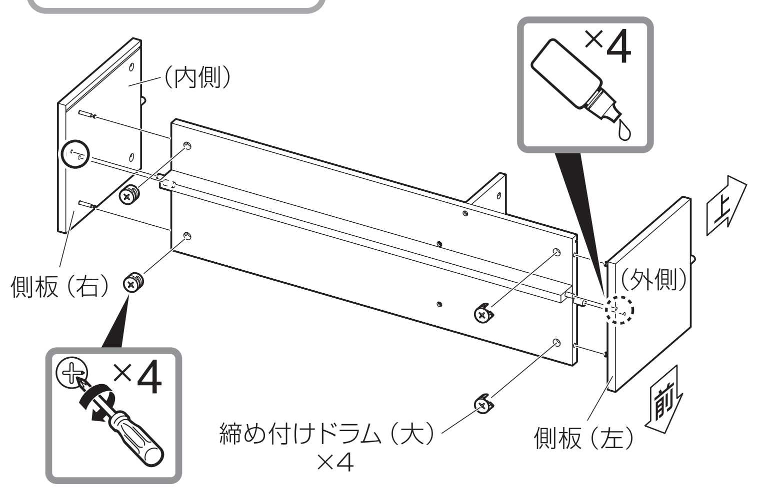


①仕切板を取り付ける
②台輪を取り付ける



2 側板（左、右）を取り付ける

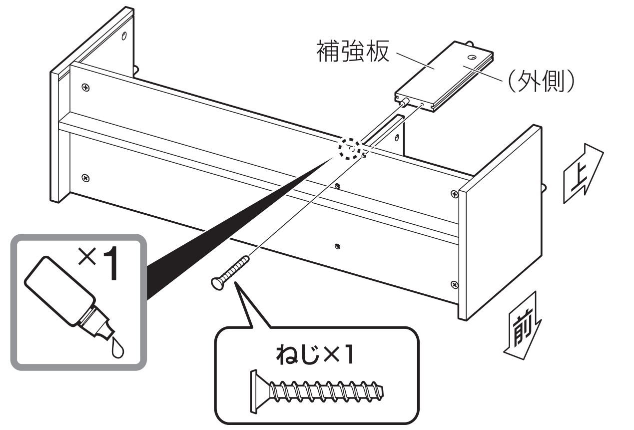




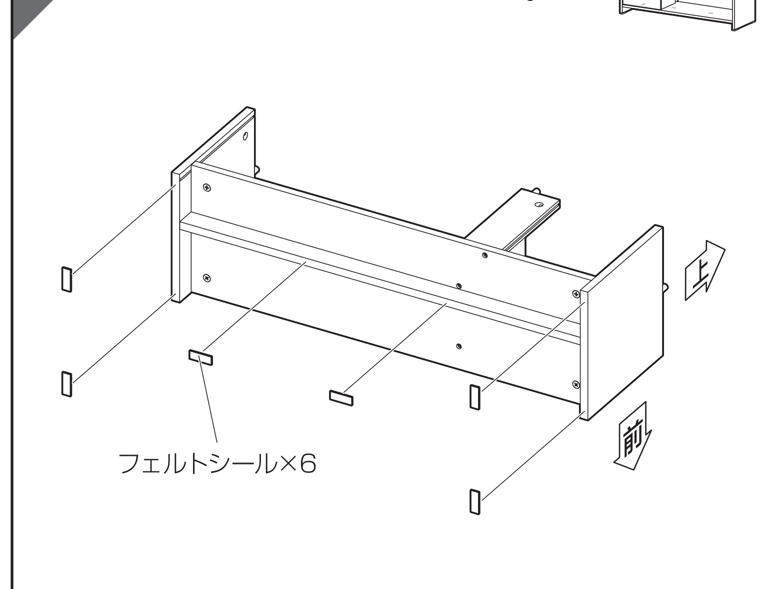
■本体の組み立てかた（つづき）

3 補強板を取り付ける

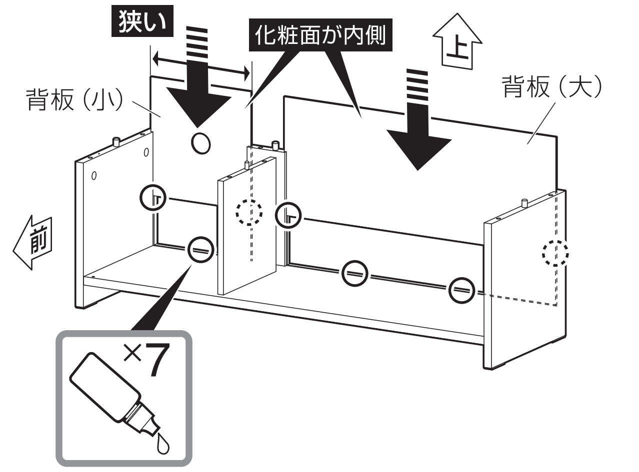
表紙参照
1 ダボ・溝部分の接着



4 フェルトシールを貼り付ける

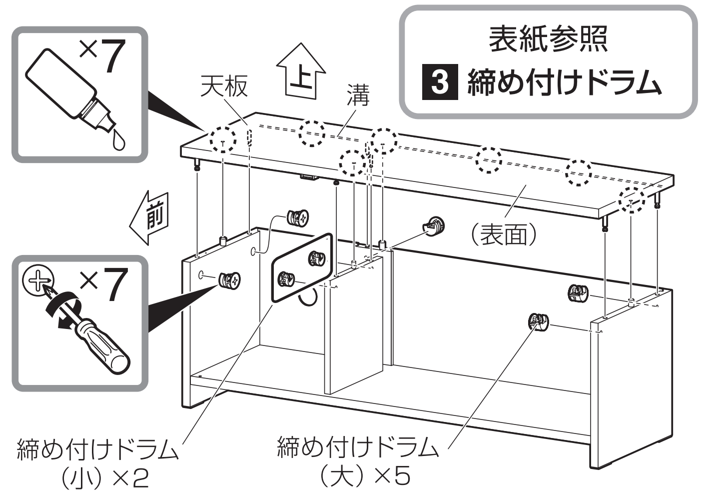


5 背板（大、小）を取り付ける

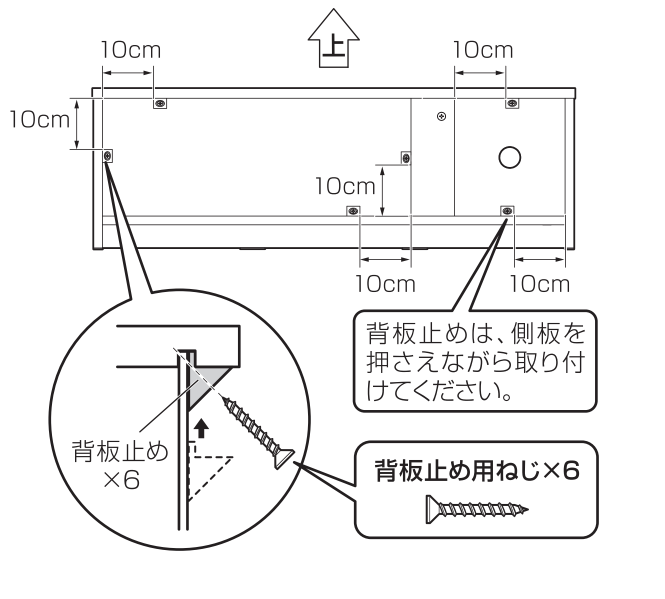


6 天板を取り付ける

表紙参照
3 締め付けドラム

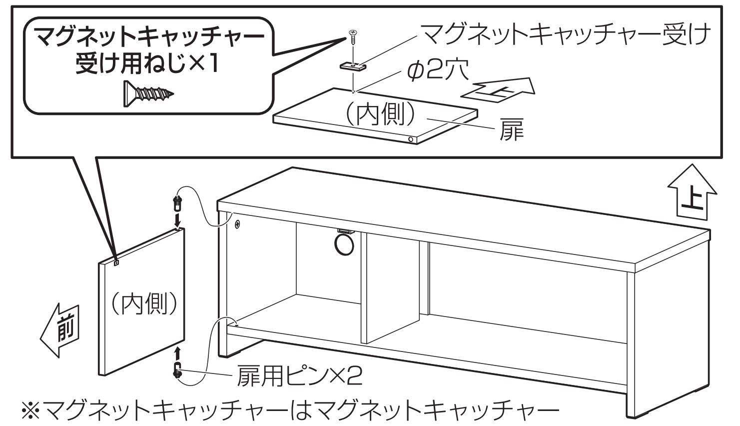


7 背板止め（6か所）を取り付ける



8 扉にマグネットキャッチャー受けと扉用ピンを取り付ける

①マグネットキャッチャーを扉に取り付ける
②扉用ピンを扉に取り付ける
③扉下側の扉用ピンを底板の穴に入れる
扉下側を入れてから、同様に扉上側も扉用ピンを押しながら天板の穴に入れる

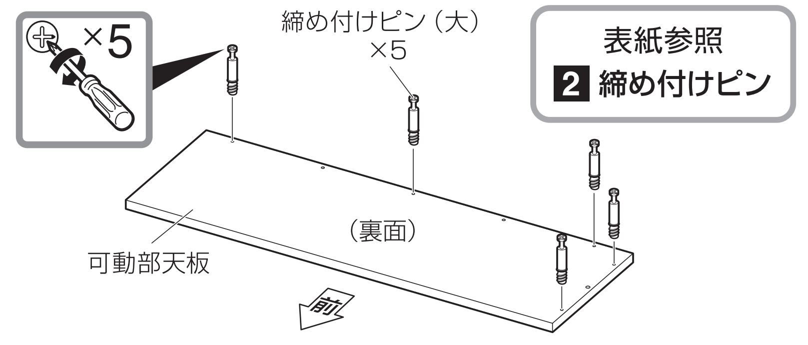


※マグネットキャッチャーはマグネットキャッチャー受けと少しずれた位置に付きますが、磁力調整のためですので、問題ありません。

■可動部の組み立てかた

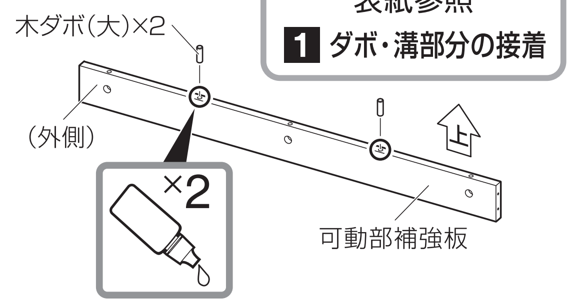
1 締め付けピン（大）を可動部天板に取り付ける

表紙参照
2 締め付けピン

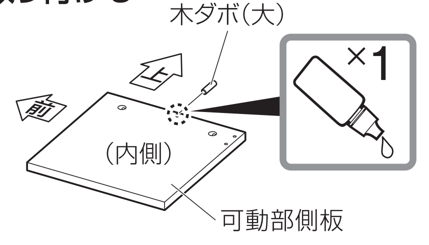


2 木ダボ（大）を可動部補強板に取り付ける

表紙参照
1 ダボ・溝部分の接着

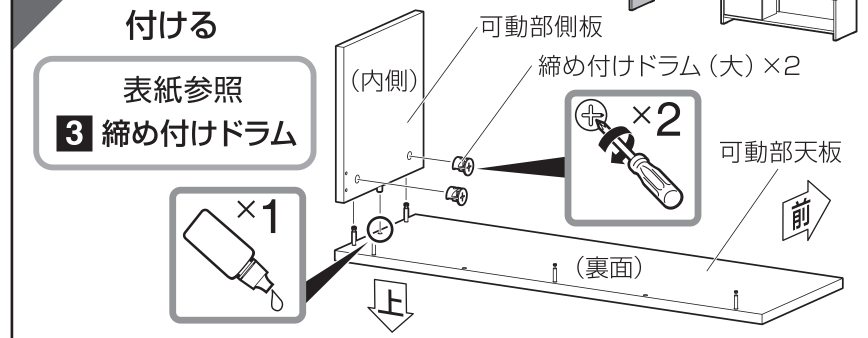


3 木ダボ（大）を可動部側板に取り付ける

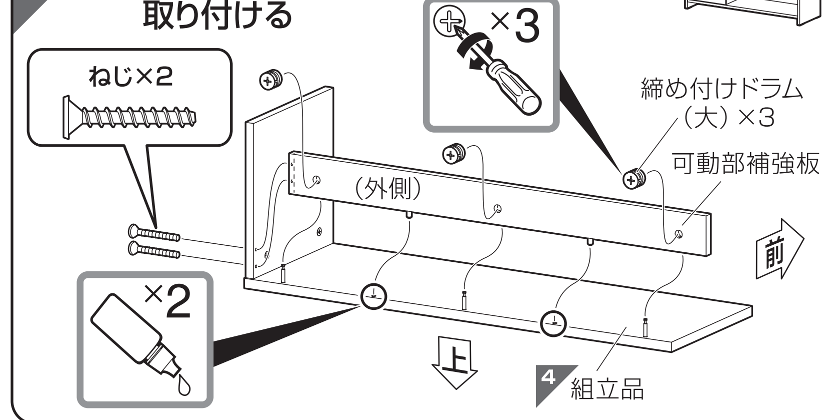


4 可動部側板を可動部天板に取り付ける

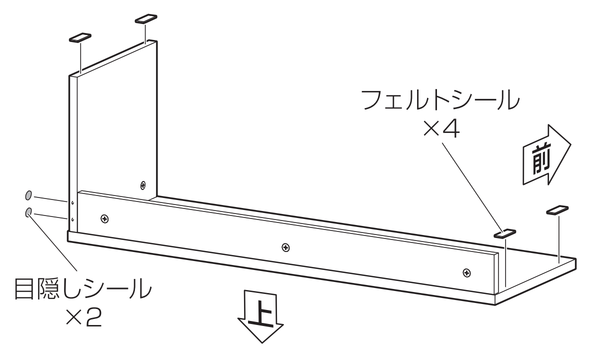
表紙参照
3 締め付けドラム



5 4 組立品に可動部補強板を取り付ける



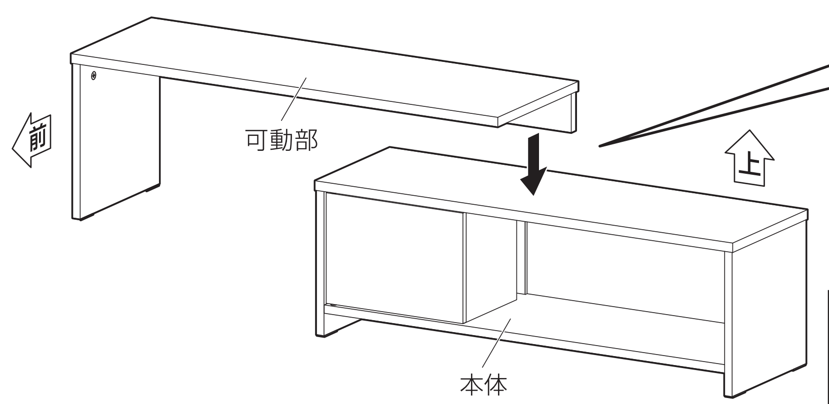
6 フェルトシールと目隠しシールを貼り付ける



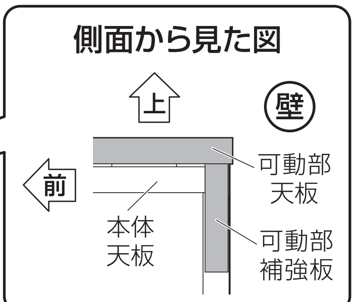
■可動部と本体の組み立てかた

可動部を本体にのせる

※可動部の補強板を本体の天板背面に揃えてください。



側面から見た図



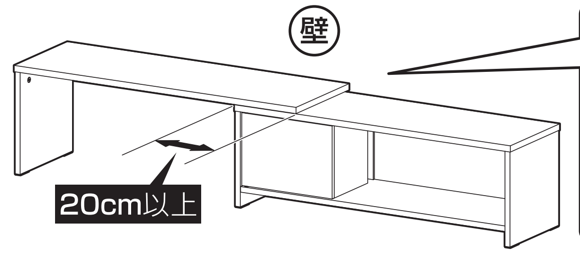
組み立て完了後、確認してください
・ねじなどがしっかり締まっていること
・製品全体にゆがみやねじれ、がたつきがないこと
・側板が全て床に接していること

使用イメージ

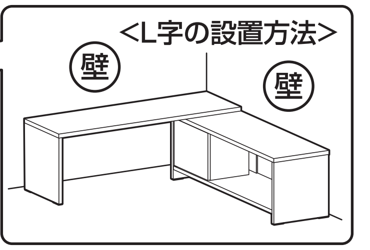
●製品後部が必ず壁面に接するように設置すること。

⚠注意

可動部は必ず本体と20cm以上重ねて使用してください。



<L字の設置方法>



安全上の注意

安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

室内用収納用品 左記以外の用途には使用しないでください。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

●火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品が変形するおそれがあります。
●必ず水平で安定した場所に設置してください。
●お子様がいたずらしないよう注意してください。
●乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
●耐荷重以上のものを入れたり、載せたりしないでください。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

●移動する際は、載せてあるものをすべておろしてください。
●可動部にものを載せたまま動かさないでください。
●この取扱説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
●フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
●必ず耐荷重以内で使用してください。
●一点に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。
●扉の開閉時に指などをはさまないように注意してください。
●扉を強く閉めないでください。破損の原因になります。
●扉を開けた状態で、扉の上に荷重をかけないでください。本体が転倒し、怪我や製品破損の恐れがあります。
●腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
・濡れたものや熱いものを置かないでください。
・シール、テープなどを貼らないでください。
●全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
●使用しているうちにねじにゆるみが発生し、ぐらつくことがありますので定期的に締め直してください。
また、使用しているうちに可動部がずれることがあります。
可動部と本体天板との重なりが20cm以上あることを定期的に確認してください。

●天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
●製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
●接着剤に含まれる有機溶剤やホルムアルデヒドが残っていることがあります。においが気になるときは、換気をよくして使用してください。

お手入れの方法

長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

●お手入れの際に、板の表面を強くこすらないでください。表面の化粧プリントが傷む原因になります。
●汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
●アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ https://www.irisohyama.co.jp/

製品に関するお問い合わせ 9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）
アイリスコール（通話料無料） 0120-211-299
Webからのお問い合わせは https://www.irisohyama.co.jp/support
●お問い合わせの際は製品の型番をお調べいただき、説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

810522
040822-QHJ-QIU-01